

公益社団法人 自動車技術会
運営企画会議議長 殿

2017年 8月 4日

研究調査事業 実績報告書（2016年度事業分）

「研究調査事業」による助成金を受領した研究が終了しましたので、下記の通り報告します。

委員会名	モータースポーツ部門委員会		
委員長名	飯倉 雅彦	委員長所属機関・部署名	ヤマハ発動機（株）AM 事業部 AM 第2
報告者名	山根 健	報告者所属機関・部署名	山根健オフィス
研究調査テーマ名：モータースポーツ・アーカイブズ公開活動			
本会HPでの公開可能年月日	2017年	8月	10日

記入にあたっての注意事項

- この報告書は、原則として2017年5月末日までにEmailに添付して提出してください。
(提出先：tech@jsae.or.jp)
- 研究助成対象者が報告してください。
- [研究調査事業の内容]は3～4ページ程度にまとめてください。
なお、[研究調査の成果]は、この研究の学会発表等より前に、報告者の了解なしに本会が公表することはありません。
- 本助成金による研究の発表論文（発表予定論文を含む）があれば、Emailに添付し[本研究調査事業の成果]に代えても結構です。
- 本報告書は、本会HPでの公開、ならびに運営企画会議に報告します。なお、HPでの公開は、上記の[本会HPでの公開可能年月]に示された年月日以降の公開とします。

注意事項

- フォントはMS明朝を基本としてください。
- 目的、内容、成果のボリュームは自由にご配分ください。
- [本研究調査事業の内容]は、3～4ページにまとめ、また図表・写真等も貼り付けてご報告ください。
- [本研究調査事業の成果]は、出来るだけ(1)(2)(3)・・・と分けて簡潔にご記入ください。

2016年度 研究調査事業実績報告書

1. [研究調査テーマ名]

モータースポーツ・アーカイブズ公開活動

2. [目的]

モータースポーツ関連の技術、文化に関する資料等の保存の重要性を啓蒙し、メーカ各社や個人、団体個々が保存活動を行うことを推進する。更にはそれらの公開を働きかけることにより、消滅の恐れのある技術情報を保存、公開する。これにより、モータースポーツ、ひいては自動車技術への興味を喚起することを目的とする。

3. [本研究調査事業の内容]

モータースポーツ関連技術は、時間の経過とともに消滅していることがこれまでの調査で明らかとなった。日本のモータースポーツ創生期を担ってこられた方も高齢化しており、これまで記録されていない当時の様子を聞き取ることのできる機会も残り少なくなっている。モータースポーツと一般人の距離も次第に広がっており、高度な自動車技術の結晶であるレース車とその開発について、開発者に直接インタビューを実施し、委員会の記録として保存するとともに、冊子として刊行し、自動車技術会会員を始めとした幅広い方々に公開することを、**本研究調査事業の主な内容**としている。

4. [本研究調査事業の成果]

成果について具体的にご記入ください。

(1) 例年のようにモータースポーツシンポジウム(3月に実施)のを映像として記録した。現時点では、委員会以外では、非公開としている(講演者の要望により、ご本人の部分のみをコピーして渡した例はある)が、今後は、講演者の許諾を含め公開への道付けを検討したい。

(2) 委員出身母体を中心に、アーカイブ対象の人物および技術の掘り起こしを行うことを通じて、各社の埋もれた歴史の見直しが促進されている。

(3) 具体的な成果物として、本年度に『第4号 Motorsports Archives』冊子を発行し、印刷物の配布を行った。(2017/3/1)「ラリー特集」として、日産自動車ワークス、トヨタ出身プライベーターへのインタビューを中心に、委員によるラリー用タイヤ技術紹介やラリー競技紹介記事も掲載した。

5. 委員会活動への影響

今回の研究調査において委員会活動へ影響した点についてご記入ください。

各委員会所属企業、団体に対しても、アーカイブズ活動、インタビュー活動を契機に記録の作成と保存の重要性が認識されるようになってきている。

6. 今回の研究調査結果について、発表方法を下記より選択してください(複数回答可)。

- 会誌への記事掲載(____年____月号を予定)
- 春季大会オーガナイズドセッションでの発表(____年春季大会を予定)
- 春季大会フォーラムでの発表(____年春季大会を予定)
- シンポジウムでの発表(____月を検討)
- 出版物の発行(印刷物、CD-ROM)(2016年__3月頃の発行を予定)
- その他(具体的にご記入ください)

自動車技術会のホームページに出版物の PDF 版を掲載予定。(従来の刊行物は掲載済み。)

7. 受給額と執行額

2016年度 申請額 180,000 円

受給総額	180,000 円
執行総額	180,000 円

(内訳)

※助成対象外：旅費交通費、什器備品、汎用備品(PC 関連、事務用品等)、軽飲食費等.

費目	使用例	実際の使用内容	予算額(円)	執行額(円)
印刷製本費	資料印刷費、複写費、編集外注費、CD 製作費など	冊子編集、印刷製本費用、記録用 DV テープ、DVD	180,000	180,000
諸謝金	原稿料			
通信運搬費	運送用レンタカー代、宅配料			
委託費	外部への委託費			
開発費	システム開発費			
資料購入費	参考資料、書籍等購入費			
物品購入費	実験に必要な部品類など			
消耗品費	燃料代、実験に必要な消耗品類			
臨時雇用費	アルバイト代			
その他				
合計(円)			180,000	180,000
2016/4/27 執行：¥50,000 (第3号増加印刷費)				
2017/3/25 執行：¥130,000 (第4号編集、印刷費)				

以上